



- 音丹盤アーカイブ(7,8,9月)
音丹盤アーカイブ(10,11月)
音丹盤アーカイブ(11,12月)
音丹盤アーカイブ(12月1月)
音丹盤アーカイブ(1月2月)
音丹盤アーカイブ(2月)
音丹盤アーカイブ(2,3月)
音丹盤アーカイブ(3,4月)
音丹盤アーカイブ(4月)
音丹盤アーカイブ(5月)
音丹盤アーカイブ(5月6月)
音丹盤アーカイブ(6月7月)
音丹盤アーカイブ(2005年7月)
音丹盤アーカイブ(2005年8月)
音丹盤アーカイブ(2005年8,9月)
音丹盤アーカイブ(2005年9,10月)
音丹盤アーカイブ(2005年10,11月)
音丹盤アーカイブ(2005年11月)
音丹盤アーカイブ(2005年12月)
音丹盤アーカイブ(05年12月06年1月)
音丹盤アーカイブ(06年1月2月)
音丹盤アーカイブ(06年2月3月)
音丹盤アーカイブ(2006年3月)
音丹盤アーカイブ(2006年3月4月)
音丹盤アーカイブ(2006年4月5月)
音丹盤アーカイブ(2006年5月6月)
音丹盤アーカイブ(2006年6月7月)
音丹盤アーカイブ(2006年7月8月)
-230907
伊3glasschレ ベル入荷可能リスト
重音
VENTO AZUL JAZZ ROOM

2023年07月27日

NEWS! ボサノヴァの巨匠 生誕85周年記念アルバム! レイラ・ピニエイロも特別ゲスト参加 ROBERTO MENESCAL & DIOGO MONZO & RICARDO BACELAR / NOS E O MAR

カテゴリ:カテゴリ未分類



ROBERTO MENESCAL & DIOGO MONZO & RICARDO BACELAR / NOS E O MAR
ホベルト・メネスカル、チオゴ・モンゾ、ヒカルド・バセラルが共演!
ボサノヴァの巨匠、ホベルト・メネスカル生誕85周年記念アルバム!
"レイラ・ピニエイロも特別ゲスト参加"

ブラジル音楽界が誇る、ホベルト・メネスカル、チオゴ・モンゾ、ヒカルド・バセラルの3人のミュージシャンが共演したカバーアルバム。
本作は、ボサノヴァのレジェンドであるホベルト・メネスカルの85歳の誕生日を記念したアルバムで、収録曲の"Bye Bye Brasil"(作ホベルト・メネスカル/パシコ・ブアルキ)には、特別ゲストのレイラ・ピニエイロがヴォーカルで参加しています。
本作には、ホベルト・メネスカル自身が、ホワード・ボスコリと共に生み出した名曲の数々のインストゥルメンタル・バージョンが主に収録されています。

ホベルト・メネスカルによる彼にしか出せないギターの音色に加え、ピアニストのチオゴ・モンゾ(ピアノ、キーボード)、マルチ・インストゥルメンタリストのヒカルド・バセラル(ピアノ、キーボード、パーカッション)が参加し、それぞれ編曲も担当しました。

「このプロジェクトは、文化プロデューサーのフェルナダ・キンデレがレーベルに持ち込んだ提案から生まれました。当初はインストゥルメンタルのアルバムをレコーディングする予定でしたが、3曲のヴォーカル曲も収録することになりました。このアルバムはメネスカルへのオマージュとして企画したもので、彼をここフォルタレザの私のスタジオに迎えることができたのは嬉しいことでした」とヒカルド・バセラルは語ります。自身が設立したレーベル、ジャズミン・ミュージックで、バセラルが本作『Nós e o Mar (ノス・イ・オ・マール)』をキンデレと共にプロデュースしました。

▼ホベルト・メネスカル

ホベルト・メネスカルは次のように語ります。
「ヒカルドが僕を招き、みんなで選曲を考えたら。ヒカルド、チオゴがいくつか提案し、僕も案を出した。アルバムのレコーディング中に生まれたアイデアもある。ヒカルドが、この僕が歌うというアイデアを出したんだ。」
これは、本作の最大のサプライズ要素になっています。
「僕はヒカルドに、本気かい? って聞いたよ。
でもいい雰囲気だったから、結局、"O Barquinho"と"Ah! Se Eu Pudesse"に僕のヴォーカルを入れたんだ」とホベルト・メネスカルはユーモアたっぷりに振り返ります。
これにより、本作『Nós e o Mar (ノス・イ・オ・マール)』は、ホベルト・メネスカルが、彼が生み出した珠玉の2曲を自ら歌っているのを聴くことができる貴重な作品になりました。
「僕が人生で初めて、そして唯一"O Barquinho"を歌ったのは、1962年、ニューヨークのカーネギーホールでのことだった。ギターなどを使って別のことをするつもりだったけど、プロデューサーに説得されて"O Barquinho"を歌うことになったんだ。僕の歌手人生はカーネギーホールで始まり、そこで幕を閉じたのさ」と彼はジョークを飛ばします。

▼チオゴ・モンゾ

リオデジャネイロ出身で、ピアニスト、作曲家、編曲家であるチオゴ・モンゾは博学な魂を持つ人気ミュージシャンで、2017年に、ピアニストで作曲家のルイス・エサにオマージュを捧げたアルバムをリリースしたときにホベルト・メネスカルと出会いました。
「メネスカルはその作品を最初に聴いてくれた人の一人でした。今回彼と一緒に仕事ができることは、素晴らしい、学び多き経験になりました。メネスカルはとても寛大で優しいアーティストなんです」とモンゾは語ります。
モンゾが、「O Barquinho」、「Nós e o Mar」、「Ah! Se Eu Pudesse」、「A Morte de um Deus de Sal」、「Copacabana de Sempre」の5曲の編曲を担当しました。
「クラシック音楽とポピュラー音楽の手法をアレンジの中に混ぜ合わせてみました。私はルイス・エサに影響を受けていますので、今回の作品には印象派音楽に通じる和声的な側面があります」とモンゾは語っています。

▼ヒカルド・バセラル

ヒカルド・バセラル(セアラ州出身)とホベルト・メネスカルは、バセラルがリノイ・ハノイのメンバーとしてリオデジャネイロに住んでいた頃からの知り合いです。
「Rio」、「Você」、「Vagamente」、「A volta」の4曲の編曲はバセラルが手がけました。
「Bye Bye Brasil」の編曲は、メネスカルとバセラルによるものです。
「私のプロデューサーとしての考えは、メネスカルのギターの特徴的なスイングを柱として維持しながら、 Hammondオルガンといくつかのキーボードを使用して、作品により現代的な質感を与え、ボサノヴァに新たなアイデアをもたらすことでした。メネスカルは、「自分たちは今までにないサンバ、くサンベチを創った」というモットーを掲げました」と、ミュージシャンとプロデューサー両方の立場でこの作品に取り組んだバセラルは語ります。
「アレンジャー、ミュージシャン、そして同時にプロデューサーであることは常に自分への挑戦であり、より広い視野が求められます。『Nós e o Mar (ノス・イ・オ・マール)』は、より洗練されたブラジル音楽への投資を続けるジャズミン・ミュージック・レーベルのラインナップをさらに充実させるものです。私たちはすでに『Andar com Gil(アンダール・コン・ジル)』(デリア・フィッシャーとの共作)でジルベルト・ジルのカバーアルバムを手がけており、今はメネスカルの作品に力を注いでいます」と彼は締めくくりました。

- 1. O Barquinho
2. Rio
3. Você
4. Bye Bye Brasil
5. Nós e o Mar
6. Vagamente
7. Ah! Se Eu Pudesse
8. A Morte de um Deus Sal
9. Copacabana de Sempre
10. A Volta

2023年作品
8月下旬入荷予定 ご予約承り中です。
「ROBERTO MENESCAL & DIOGO MONZO & RICARDO BACELAR / NOS E O MAR」のご試聴、ご予約はこちらへ

twitter でフォローしてください!
VENTO AZUL
お気に入りの記事を「いいね!」で応援しよう
いいね! 0

ツイートする シェアする 0
最終更新日 2023年07月27日 09時55分49秒

キーワードサーチ
▼キーワード検索
楽天ブログ内 このブログ内 ウェブサイト

プロフィール
VENTO AZUL
JAZZ ブラジル音楽のCD 日記
フォローする

お気に入りブログ
まだ登録されていません

コメント 新着
コメントに書き込みはありません。

SAQUE ILIMITADO É AQUI
APOSTE AGORA LUCK.BET
Estudante de Fortaleza perde 25kg em 45 dias...

Aposte agora e saque o quanto quiser!
LUCK.BET (PR)
Morotril (PR)

Eletrônicos são vendidos a preço simbólico...
Zenith Lates (PR)
Médico: Manter a massa muscular após os 50 anos...
Revista do Homem (PR)